

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
科目名	人間社会科学研究科	1. 各領域の専門的知識・専門的技能と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的な知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたるることができる。
	人文社会コース	1. 言語・文化・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する学際的な知見に基づいて、個別の事象を理解することができる	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。 5. 収集した情報を専門的な枠組みと学際的な知見に基づいて分析し、論理的に結論を導くことができる。 6. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	7. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 8. 身につけた専門知識や技能を多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする意欲・態度をもつ。 9. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 10. 身につけた専門技能に基づき多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 11. 多様な人々と円滑に交流・協働し、自らの専門性を活かしながら、学際的な視点に立って、応用・実践的に地域および現代社会の諸問題にとりくむことができる。
研究科共通科目	人間社会科学特論	◎	○	○
コース間連携科目	インターディシプリナリー・コミュニケーション・セッションⅡ	○	○	◎
	他専攻・他コースの専門科目	◎		○
社会実践科目	(科目名省略)		○	◎
コース基盤科目	人文社会基礎論	◎	◎	○
コース専門科目	日本文学特殊講義ⅠA	◎	○	
	日本文学特殊講義ⅠB	◎	○	
	日本文学特殊講義ⅡA	◎	○	
	日本文学特殊講義ⅡB	◎	○	
	日本文学特殊講義ⅢA	◎	○	
	日本文学特殊講義ⅢB	◎	○	
	日本文学特別演習ⅠA	◎	◎	○
	日本文学特別演習ⅠB	◎	◎	○
	日本文学特別演習ⅡA	◎	◎	
	日本文学特別演習ⅡB		◎	
	日本文学特別演習ⅢA	◎	◎	
	日本文学特別演習ⅢB	◎	◎	
	日本語学特殊講義ⅠA	◎	○	
	日本語学特殊講義ⅠB	○	◎	
	日本語学特殊講義ⅡA	◎	○	
	日本語学特殊講義ⅡB	◎	○	
	日本語学特別演習ⅠA	○	◎	◎
	日本語学特別演習ⅠB	○	◎	◎
	日本語学特別演習ⅡA	○	◎	○
	日本語学特別演習ⅡB	○	◎	○
	中国文学特殊講義ⅠA	◎	○	
	中国文学特殊講義ⅠB	◎	○	
中国文学特殊講義ⅡA	◎		○	
中国文学特殊講義ⅡB	◎		○	

ディプロマ・ポリシー

科目区分		人間科学研究科	社会創成専攻	人文社会コース
科目名		問題に関する専門的・学際的理解 1. 各領域の専門的知識・専門的技 能と幅広い学際的な知見を身につ け、人間と社会に関する問題を深く理 解することができる。	課題の設定と分析・解決法の立案 2. 人間と社会に関する諸問題につ いて、独自の課題を設定し、その解 決に向けて、専門的な方法で分析す ることができる。	多様な人々との協働性と応用実践 3. 地域および現代社会における諸問 題について、多様な人々と協働して問 題解決にあたることができる。
		1. 人間と社会に関する各領域の専 門的知識・理論・研究法と幅広い学 際的な知見を身につけ、人間と社会 に関する問題を深く理解することがで きる。	2. 人間と社会に関する諸問題につ いて、独自の課題を設定し、その解 決に向けて、必要な情報を収集し、専 門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問 題について、専門的知識・研究成果・ 問題解決策を、学際的知見を踏まえ て、多様な人々に的確に表現し、協働 して応用・実践的に問題解決にあたる ことができる。
		1. 言語・文化・社会・福祉に関する諸 領域の理論および研究方法について 専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に 関する学際的知見に基づいて、個別 の事象を理解することができる	3. 既存の言説を批判的に検討するこ とによって、独自の研究課題を設定 することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解 決するために必要なデータを収集し、 整理することができる。 5. 収集した情報を専門的な枠組みと 学際的知見に基づいて分析し、論理 的に結論を導くことができる。 6. 異文化や過去への関心を持ち、自 文化を相対化して考えることができ る。	7. 地域社会の諸課題に、専門的な視 点から主体的にとりくむことができる。 8. 身につけた専門知識や技能を多様 な人々が共生する社会の実現のため に役立てようとする意欲・態度をもつ。 9. 自らの考えを、文章や口頭で、多様 な人々に対して、論理的・説得的に表 現できる。 10. 身につけた専門技能に基づき多様 な人々に対して適切な提言を行うこと ができる。 11. 多様な人々と円滑に交流・協働 し、自らの専門性を活かしながら、学 際的な視点に立って、応用・実践的に 地域および現代社会の諸問題にとりく むことができる。
コース 専門科目	中国文学特別演習A	○	◎	
	中国文学特別演習B	○	◎	
	中国語学特別演習A	◎	○	○
	中国語学特別演習B	◎	○	○
	イギリス文学特殊講義A	◎	○	○
	イギリス文学特殊講義B	◎	○	○
	アメリカ文学特殊講義A	◎	○	
	アメリカ文学特殊講義B	◎	○	
	アメリカ文化特殊講義A	◎		○
	アメリカ文化特殊講義B	○	○	○
	英語学特殊講義ⅠA	◎	○	
	英語学特殊講義ⅠB	◎	○	
	英語学特殊講義ⅡA	◎	○	
	英語学特殊講義ⅡB	◎	○	
	イギリス文学特別演習A	○	◎	○
	イギリス文学特別演習B	○	◎	○
	アメリカ文学特別演習A	◎	○	
	アメリカ文学特別演習B	◎	○	○
	アメリカ文化特別演習A	◎	○	
	アメリカ文化特別演習B	◎	○	○
	英語学特別演習A		◎	○
	英語学特別演習B		◎	○
	フランス文化特殊講義A	◎	◎	
	フランス文化特殊講義B	◎	◎	
	フランス文化特別演習A	◎	○	○
	フランス文化特別演習B	◎	○	○
	ドイツ文化特殊講義A	◎	◎	○
	ドイツ文化特殊講義B	◎	◎	○
	ドイツ文化特別演習A	◎	○	○
	ドイツ文化特別演習B	◎	○	○
	哲学特殊講義ⅠA	◎	◎	○
	哲学特殊講義ⅠB	◎	◎	○
	哲学特殊講義ⅡA	◎	◎	○

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
科目	人間社会科学研究科	1. 各領域の専門的知識・専門的スキルと幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたるることができる。
	人文社会コース	1. 言語・文化・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。 5. 収集した情報を専門的な枠組みと学際的知見に基づいて分析し、論理的に結論を導くことができる。 6. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	7. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 8. 身につけた専門知識やスキルを多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする意欲・態度をもつ。 9. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 10. 身につけた専門スキルに基づき多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 11. 多様な人々と円滑に交流・協働し、自らの専門性を活かしながら、学際的な視点に立って、応用・実践的に地域および現代社会の諸問題にとりくむことができる。
コース 専門科目	哲学特殊講義ⅡB	◎	◎	○
	哲学特別演習ⅠA	○	◎	◎
	哲学特別演習ⅠB	○	◎	◎
	哲学特別演習ⅡA	○	◎	◎
	哲学特別演習ⅡB	○	◎	◎
	文化交流論特殊講義ⅠA	◎	○	○
	文化交流論特殊講義ⅠB	◎	○	○
	文化交流論特殊講義ⅡA	◎	○	○
	文化交流論特殊講義ⅡB	◎	○	○
	文化交流論特別演習ⅠA	○	◎	○
	文化交流論特別演習ⅠB	○	◎	○
	文化交流論特別演習ⅡA	○	◎	○
	文化交流論特別演習ⅡB	○	◎	○
	社会学特殊講義A	◎	○	○
	社会学特殊講義B	◎	○	○
	社会学特殊講義C	◎	○	○
	社会学特別演習ⅠA	○	◎	○
	社会学特別演習ⅠB	○	◎	○
	社会学特別演習ⅡA	○	◎	○
	社会学特別演習ⅡB	○	◎	○
	社会学特別演習ⅢA	○	◎	○
	社会学特別演習ⅢB	○	◎	○
	地理学特殊講義Ⅰ	◎	○	○
	地理学特殊講義ⅡA	○	○	○
	地理学特殊講義ⅡB	○	○	○
	地理学特殊講義ⅢA	○	○	○
	地理学特殊講義ⅢB	○	○	○
	地理学特別演習A	○	◎	○
	地理学特別演習B	○	◎	○
	地理情報システム特別実習	○		◎
	文化人類学特殊講義ⅠA	◎		○
	文化人類学特殊講義ⅠB	◎		○
文化人類学特別演習A	○	◎	○	

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践	
科目	人間社会学研究	1. 各領域の専門的知識・専門的技能と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。	
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたるることができる。	
	人文社会コース	1. 言語・文化・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。 5. 収集した情報を専門的な枠組みと学際的知見に基づいて分析し、論理的に結論を導くことができる。 6. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	7. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 8. 身につけた専門知識や技能を多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする意欲・態度をもつ。 9. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 10. 身につけた専門技能に基づき多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 11. 多様な人々と円滑に交流・協働し、自らの専門性を活かしながら、学際的な視点に立って、応用・実践的に地域および現代社会の諸問題にとりくむことができる。	
科目名	文化人類学特別演習B	○	○	◎	
	考古学特殊講義Ⅰ	◎			
	考古学特殊講義Ⅱ	◎			
	コ ー ス 専 門 科 目	考古学特殊講義Ⅲ	◎		
		考古学特別実習			◎
		考古学特別演習Ⅰ	○	◎	○
		考古学特別演習Ⅱ	○	◎	○
		考古学特別演習Ⅲ	○	◎	○
		日本史学特殊講義Ⅰ-1	◎		
		日本史学特殊講義Ⅰ-2	◎		
		日本史学特殊講義Ⅱ-1	◎		
		日本史学特殊講義Ⅱ-2	◎		○
		日本史学特殊講義Ⅲ-1	◎		
		日本史学特殊講義Ⅲ-2	◎		
		日本史学特殊講義Ⅳ	◎		
		日本史学特別演習ⅠA-1	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅠA-2	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅠB-1	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅠB-2	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅡA-1	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅡA-2	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅡB-1	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅡB-2	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅢA-1	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅢA-2	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅢB-1	○	◎	○
		日本史学特別演習ⅢB-2	○	◎	○
		東洋史学特殊講義Ⅰ-1	◎	○	○
		東洋史学特殊講義Ⅰ-2	◎	○	○
		東洋史学特殊講義Ⅱ-1	◎	○	
		東洋史学特殊講義Ⅱ-2	◎	○	
		東洋史学特殊講義Ⅲ	◎	○	
東洋史学特別演習ⅠA-1		○	◎		

ディプロマ・ポリシー

科目区分	科目名	ディプロマ・ポリシー		
		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
人間科学研究科	社会科学	1. 各領域の専門的知識・専門的技能と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたるることができる。
	人文社会コース	1. 言語・文化・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。 5. 収集した情報を専門的な枠組みと学際的知見に基づいて分析し、論理的に結論を導くことができる。 6. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	7. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 8. 身につけた専門知識や技能を多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする意欲・態度をもつ。 9. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 10. 身につけた専門技能に基づき多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 11. 多様な人々と円滑に交流・協働し、自らの専門性を活かしながら、学際的な視点に立って、応用・実践的に地域および現代社会の諸問題にとりくむことができる。
コース専門科目	東洋史学特別演習 I A-2	○	◎	
	東洋史学特別演習 I B-1	○	◎	
	東洋史学特別演習 I B-2	○	◎	
	東洋史学特別演習 II A-1	○	◎	○
	東洋史学特別演習 II A-2	○	◎	○
	西洋史学特殊講義 I -1	◎		
	西洋史学特殊講義 I -2	◎		
	西洋史学特別演習 I A-1	○	◎	○
	西洋史学特別演習 I A-2	○	◎	○
	西洋史学特別演習 I B-1	○	◎	○
	西洋史学特別演習 I B-2	○	◎	○
	西洋史学特別演習 II A-1	○	◎	○
	西洋史学特別演習 II A-2	○	◎	○
	記録史料学特殊講義 I	◎		○
	記録史料学特殊講義 II	◎		
	アーカイブズ管理論特殊講義 I	◎		
	アーカイブズ管理論特殊講義 II	◎		
	アーカイブズ管理論特殊講義 III	◎		
	アーカイブズ学理論特殊講義 I	◎		
	アーカイブズ学理論特殊講義 II	◎		
	アーカイブズ学特殊講義	◎		
	アーカイブズ学特別演習A	○	◎	○
	アーカイブズ学特別演習B	○	◎	○
	アーカイブズ学特別実習			◎
	資料保存論	◎		○
	社会福祉学特殊講義 I	◎		
	社会福祉学特殊講義 II	◎		
	社会福祉学特殊講義 III	◎		
	社会福祉学特殊講義 IV	◎		
	社会福祉学特殊講義 V	◎		
	社会福祉学特殊講義 VI	◎		
	社会福祉学特別演習 I A		○	◎
社会福祉学特別演習 I B		○	◎	

ディプロマ・ポリシー

科目区分		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
科目	人間社会学研究	1. 各領域の専門的知識・専門的スキルと幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたることができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の専門的知識・理論・研究法と幅広い学際的な知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する諸問題について、独自の課題を設定し、その解決に向けて、必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果・問題解決策を、学際的知見を踏まえて、多様な人々に的確に表現し、協働して応用・実践的に問題解決にあたるることができる。
	人文社会コース	1. 言語・文化・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために必要なデータを収集し、整理することができる。 5. 収集した情報を専門的な枠組みと学際的知見に基づいて分析し、論理的に結論を導くことができる。 6. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して考えることができる。	7. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 8. 身につけた専門知識やスキルを多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする意欲・態度をもつ。 9. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 10. 身につけた専門スキルに基づき多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 11. 多様な人々と円滑に交流・協働し、自らの専門性を活かしながら、学際的な視点に立って、応用・実践的に地域および現代社会の諸問題にとりくむことができる。
科目名	社会福祉学特別演習ⅡA		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅡB		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅢA		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅢB		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅣA		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅣB		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅤA		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅤB		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅥA		○	◎
	社会福祉学特別演習ⅥB		○	◎
研究指導科目	人文社会演習	○	◎	◎